



市内創業者等への支援と市立グラウンドの管理について

吉本ゆうすけ議員(フォーラム小平)

市内創業者、創業希望者への支援と創業後の支援について

質問 ①市内の主な創業支援事業の種類は。

②支援した創業者の経営状態の把握はどの程度で行っているか。

市長 ①小口事業資金融資事業による創業資金の融資あっせんなどを実施している。また、創業支援事業計画による小平商工会等の創業支援事業者は、創業セミナーなどを実施している。

②市では把握していないが、地域の金融機関が定期的に訪問しており、また小平商工会では経営のアドバイスをするなど支援を行っていると考えている。

市立グラウンドの管理について

質問 ①利用団体においているグラウンド使用前後の管理と市の状況確認の取り組みは。

②予約している団体名を公開することに、団体間で情報共有することへの見解は。

市長 ①利用団体には、利用終了後に必ずグラウンド面の整備、清掃及びごみの持ち帰りをお願いしており、週3回の巡回の中で状況を確認している。

②公共施設予約システムの機能的な制限もあり団体名は公開していないが、今後、各団体の要望等も踏まえて研究していく。



まちづくりビジョン／ごみの中間処理施設の更新

橋本久雄議員(緑の党こだいら)

活気に満ちた挑戦する都市はどの程度まで実現したか

質問 ①挑戦する都市の実現のため行ってきた取り組みは。

②パブリックコメントの意見をふやすには何が必要か。

市長 ①公募委員を含む審議会、2005年市長マニフェストの補助金全面見直しの公約はなぜ実現しなかったのか。

市長 ①公募委員を含む審議会、ワークショップなどに取り組んできた。

②広報や市民懇談会での意見募集等を行っている。

③統一的な基準で評価、検証する仕組みの構築には至らなかった。

ごみ処理や資源物処理施設の更新などについて

質問 ①3市共同資源物処理施設の建設は中止すべきでは。

②焼却処理施設の焼却炉は、規模を縮小すべきではないか。

市長の公約は、平成31年の有料化検討と矛盾しないか。

市長 ①ごみ処理を安定的に進めるのに必要な施設である。

②可能な限り縮小することが望ましいと考えている。

③行政計画に掲げた準備、検討は実態に見合ったもので矛盾はない。



オープンデータの促進、ひとり親家庭への支援充実を求める

竹井ようこ議員(フォーラム小平)

市民活動、協働、自治のためにもオープンデータを進めよう

質問 ①新たな広域連携促進事業でのオープンデータ検討結果は。

②保育園、震災用井戸、選挙時の公営掲示板等の位置情報からオープンデータ化に着手できないか。

市長 ①国分寺市と連携し対象となる分野の検討を行う中で試行的に子育て支援関連情報をオープンデータ化することとし、現在データの作成を進めている。

②子育て関連情報のほか施設データについても住所情報のオープンデータ化を今後検討していく。

ひとり親家庭へのサポートについて

質問 ①ひとり親に対するサポートはどのようなものがあるか。

②中卒の親に対する学びなおし支援はあるか。

市長 ①児童扶養手当、児童育成手当の支給等や母子・父子自立支援員が相談に応じ、ハローワークへの同行等を行う自立支援プログラム策定事業、高等職業訓練促進給付金事業等がある。

②今後学びなおしに関するニーズ把握に努めるなどしていく。

【掲載分以外の質問項目】

○頑張っている子どもたちを市を挙げて応援しよう



平成29年度予算編成方針について問う

佐藤 充議員(日本共産党小平市議団)

小平市の平成29年度予算編成方針について

質問 ①市の予算編成方針において、国は29年度予算で本格的な歳出改革に取り組むと紹介しているが、この歳出改革は市にどのような影響があるか。

②編成方針にある市の課題は施策の基本点であり、方針の基調となるが、歳出の抑制等との関係では抑制的になつてはならないと考えるが、市の見解は。

③市の課題解決に当たっては、参加や協働を通じ市民自治を進めるとあるが、市民自治とは具体的にどのようなものになるか。

市長 ①現時点で国の取り組み

が明らかではなく、市への影響の推量は難しいが、地方交付税制度の動向や29年度に向けた地方財政計画等を注視していく。

②29年度の予算編成は現状では財源的に非常に厳しいものになると見込まれる。しかし、真に必要な事業は、歳出の抑制等の取り組みで捻出された財源を活用し、しっかりとした対応が必要であると受けとめている。

③これまで市民が発案する事業に助成するなど市民や自治会等の自由な発想等、地域の活力を市政に取り入れてきた。今後参加と協働を通じた取り組みは、まちづくりを進める上で重要性を増していくと考えている。



防災機能を備えた公園をいかにして災害時に備えよう

平野ひろみ議員(生活者ネットワーク)

防災機能を備えた公園をいかにして災害時に備えよう

質問 ①防災機能を備えた公園の設置機能の内容、管理体制は。

②自治会等へ周知しているか。

③設備の使い方の提示や必要な備品の設置はできないか。

市長 ①かまどベンチや災害対応トイレ等設置してある公園は10か所ある。利用者や公園ボランティアからの情報、公園パトロール等により管理している。

②看板や市のホームページで周知していく。

③災害時に有効に活用できるよう、周知の看板、必要な備品の設置を今後検討する。

教育の場で子どもの育ちをトータルに見据える支援を

質問 ①29年度導入の特別支援教室により期待される効果は。

②発達支援相談拠点検討委員会に学校教育関係者が入つてないが、相談、支援と教育委員会との連携についての見解は。

教育長 ①子どもにとって他校に通う負担軽減、保護者にとって指導の意義や効果に対する理解が広がる、巡回指導教員と担任との連携が緊密になり、指導内容の充実につながると考える。

市長 ②総合相談的な機能拠点の検討について、教育委員会との連携を図っていく。



保育／住宅リフォーム助成制度／文化財について

細谷 正議員(日本共産党小平市議団)

保育の質の向上と待機児童対策について

質問 保育の質を向上させるために取り組んでいることは。

市長 保育士の処遇改善や負担軽減を目指した支援により、保育士の労働環境改善という視点からも、保育の質の維持向上につながる取り組みを行っている。

全国的に広がる住宅リフォーム助成制度と産業活性化について

質問 店舗改修等補助事業の実績からも、住宅リフォーム助成制度創設が市内地域産業の活性化につながるかと考えるが見解は。

市長 今後、市内店舗改修等補助

助事業を見直す中で、事業者の利便性を高めるとともに、さらなる創業の推進等により市内地域産業の活性化を図っていく。

高橋定右衛門墓の市文化財指定について

質問 高橋定右衛門の墓の文化財指定に至った経緯は。

市長 小平市文化財保護審議会から意見を受け調査した結果、明治初期に小平市及び周辺地域で発生した、近代民衆運動の先駆けとして有名な御門訴事件に関連する、市内ではほぼ唯一の貴重な史跡であると確認し、審議会の答申を受け指定に至った。



災害時にかまどとして炊き出しができるかまどベンチ(ケヤキまんなか公園)



災害対応トイレ(ケヤキまんなか公園)

用語の解説

※1 運転経歴証明書とは 運転免許証返納日からさかのぼって5年間の運転経歴を証明するもの。平成24年4月1日以降に公布されたものは、身分証明書として用いることができる。

※2 インテリジェント自治体構想とは 自治体が業務の標準化やシステムの共同利用等効率的な運用を行い、データの有効活用等による業務内容の高度化やスマートフォンなどを用いた手続の多様化を実現することで、住民の利便性向上を図る考えのこと。

市議会を傍聴してみませんか

本会議や委員会は定員の範囲内でどなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は市役所7階の議会事務局にお越しください。会議当日の午前8時30分から受け付けをいたします。なお、小平市議会では、本会議傍聴席への磁気ループの設置と手話通訳者の配置を試行的に実施しています。(ご利用に当たっては、事前の申し込みが必要です。)

本会議は3月、6月、9月、12月の年4回開催しており、開会時刻は原則として午前9時です。本会議の日程等詳しいことは議会事務局までお問い合わせいただくか、市議会のホームページをご覧ください。